

独立行政法人日本スポーツ振興センターの統計によると、学校管理下の災害は〇〇年以降年間約100万人で、死亡事故については年間約130件発生しているという。命を大切にすることを教育の重要性が指摘される中、小・中学校でもAED（自動体外式除細動器）の設置が確実に進められてきている。田中秀治・国士舘大学大学院主任教授は、児童生徒へのBLS（一次救命処置）とAEDの実技教育の在り方を研究。簡易型蘇生人形を用いた小・中・高等学校での新たな講習プログラムを開発した。

〇1年に改訂された学習指導要領には、生命を尊重し健康で安全な生活ができるような能力の育成を目指すことが明確に示されている。

しかし現状では、その確実な手技の取得となるAEDを含むBLS講習は学校であまり行われておらず、その主な理由には、教員自身に**実技指導**の経験がないなどの教育体制、器材の不足、教員のモチベーションが**低い**などが挙げられます。

と田中教授は話す。

そこで同教授らは、小・中・高等学校で授業時間に適合させたBLS+AEDコースの新たなプログラム

を 開 発 。 授 業 時 間 内 に 終 わ
り 、 教 員 に 指 導 経 験 が な く
て も D V D を 見 な が ら 児 童
生 徒 と と も に 負 担 な く 学 ぶ
こ と が で き 、 器 材 も 簡 易 型
蘇 生 人 形 (ミ ニ ア ン) と 紙
製 の 模 擬 A E D を 用 い る こ
と で 、 生 徒 全 員 が 心 肺 蘇 生
法 を 実 体 験 で き る よ う に な
っ た と 話 す 。
「 こ れ に よ り 従 来 1 8 0
分 必 要 で あ っ た 講 習 時 間 は
半 分 近 く に 短 縮 さ れ 、 授 業
が 2 コ マ あ れ ば 実 施 で き る
よ う に な り ま し た 。 人 形 の
費 用 も 約 1 0 分 の 1 と 安 価
に な り 、 一 人 ひと り が 従 来
の 5 倍 も の 長 時 間 人 形 を 占
有 で き る の で 、 好 奇 心 が 高
ま り 、 全 員 が 達 成 感 を 得 ら

れる授業となりました」
同時にインスタラクタ
ー数、人的費用、人形の重
さ、実施ペースも大幅な
削減が可能となった。
「小学生の胸骨圧迫の
平均圧迫値を計測したとこ
ろ、やはり小学生では**確実**
な圧迫は難しく、有効な胸
骨圧迫は中学生以上、体重
 ≥ 30 kg 以上でないときな
いことがわかりました。と
はいえ、小学生から A E D
を含む心肺蘇生法を体で覚
えることで、命の重要性が
理解でき、人が倒れたとき
にひるまず声をかけられる
ようになります」
今年2月の東京マラソ
ン2007でも、心肺停止

患者の一人を発見し、人を
呼ぶ最初の救命に活躍した
のは小学5年生だ。患者は
迅速なAEDの処置により
一命をとりとめた。
「現在、10歳年齢時で過
去に心配蘇生法を学習した
ことの少ない人の割合は
10%。これを10歳までに
3回経験できるようにする
ことが目標です」
同教授らは、小中学校向
けの一次救命手当の啓発
用DVD「大切な命を助け
るために」私たちができる
こと「AED」を製作。こ
れを活用すれば、児童生徒
が学校で学習後、ミニアン
とともに家庭へ持ち帰り、
両親と一緒にDVDを見な

がら反復学習することもでき
る。DVDは視聴できる
場所が限られているので内
容をマンガにした『命の教
育』という冊子も作成しま
した。『
両教材では、心肺停止で
倒れた人を救命に結びつけ
るためには、意識の確認↓
119番に通報しAEDを
探す↓胸骨圧迫の実施↓人
工呼吸↓AEDを使う↓の
流れがポイントなることを
解説。特に、3分以内にA
EDを使うことがいかに重
要であるかを訴えている。
野球などのスポーツ中
に飛球が胸に当たり心臓が
停止する「心臓しんとう」

ない。Dで救命された児童生徒が、A E